



8月の歳時記(葉月/August)

暦の上では秋ですが...



★ 終戦記念日は8月15日?

1945年8月6日(8:15)広島、8月9日(11:02)長崎に原子爆弾投下
 8月14日:ポツダム宣言受諾(7/26発文)、国民はまだ知らない
 8月15日:天皇陛下/終戦詔書(8/14付)読上げ、休戦を宣言
 8月16日:停戦命令(大本営、大陸命、大海令)、全面停戦へと進む
 9月2日:降伏文書調印(米戦艦ミズーリ号)、世界に実況中継、GHQ占領開始
 1951年9月8日:サンフランシスコ平和条約(48ヶ国)、日本国主権回復

1945年8月15日正午、昭和天皇はラジオを通じ、日本の降伏を国民に伝えた。満州事変から日中戦争、太平洋戦争へと拡大した戦争は15年におよんだ。日本の戦没者は軍人・軍属230万人、民間人80万人。アジア・欧米諸国にも多くの犠牲をもたらした。戦争の過ちと惨禍を反省し平和を誓う為、毎年この日に全国戦没者追悼式を催し、1982年以降戦争を知らない世代に戦争の経験と平和の意義を伝えるため「戦没者を追悼し平和を祈念する日」としている。しかし、8月15日は天皇陛下が終戦詔書を読上げ、ポツダム宣言を受入れ休戦を宣言した日、本当の終戦は9月2日の降伏文書調印日が妥当と考える。


※ ポツダム宣言(1945年7月26日ベルリン/ポツダム):ドイツの無条件降伏に続き日本の対応・対戦処理について、米/トルマン、英/チャーチル、露/スターリン、支/蒋介石(同意)間で協定、日本に無条件降伏を勧告。日本が「黙殺」(拒否と誤訳され)したため原爆投下に繋がる。
 ※ 海外の終戦日は、その国の立場や歴史等複雑な事情もあり名称合せて反映され、戦争時に日本の占領国であった国は8月15日、西側諸国では9月2日、東側諸国では9月3日が多い。戦争を知る世代も少なくなった、改めて戦争の悲惨さを思い起こしてほしい。

★ こよみ: 立秋(7)、山の日(10)、終戦記念日・旧盆(15)、処暑・地蔵盆(23)、二百十日(31)

1 熱中症・コロナ感染予防

STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

「新しい生活様式」における
熱中症予防行動のポイント

- 暑さを避けましょう 
- 適宜マスクをはずしましょう
- こまめに水分補給しましょう
- 日ごろから健康管理をしましょう
- 暑さに備えた体作りをしましょう

「新しい生活様式」では「人との距離の確保」「マスクの着用」「手指消毒の徹底」「3密回避」などが求められています

環境省 厚生労働省 「令和2年度の熱中症予防行動」より

① コロナ感染症予防対策の徹底継続

感染者数が一時的に減少し緊急事態宣言が解除となり、大幅な規制緩和以降、再度感染者数が増加傾向にあり第2、第3のピークが懸念される。

熱中症予防も含めて一層の自己防衛が重要となる
 『3密防止』『手洗い・消毒』『マスク着用』『外出自粛』『体温測定』『換気』『高齢者配慮』等怠り無く!

② 熱中症予防 オヤツと思ったら迷わず救急車!

夏場のコロナマスクは熱中症の危険を誘引する!

相互距離を確保し外す。水分補給を怠らないこと

その日の気象、作業環境を把握し態勢を整える

WBGT活用、空調、服装、周囲養生、作業方法、こまめな休憩等日頃の健康管理を万全に

適度な運動、ぬるめの入浴、バランスの良い食事、十分な睡眠等

③ 食中毒の予防:『菌』を着けない・増やさない・殺菌消毒



熱中症対策「3密」ならぬ「3とる」?

- ① 人との距離をとる
- ② マスクをとる
- ③ 水分をとる

(覚えて! かくれ脱走! 委員会 山口県労働局の提供)

2 夏バテ(暑気あたり、夏まけ)防止

症状: 夏の暑さが続くと体に変調をきたし、胃腸の調子が悪い、倦怠感、活力がわかない等

原因: 高温多湿による体調不良の総称が『夏バテ』。放置すると慢性疲労につながる

予防: 十分な睡眠、過冷房に注意、適度な運動で汗をかく、水分やミネラルの補給、ビタミンBC群を含む食材摂取、ぬるめのお風呂でリラックス等



危険予知 気づいたあなたが責任者 報・連・相で無災害!

自分でチェック! 私の健康 みんなでチェック! 働く環境

ご安全に!